



DO FOR FISH

魚がいる未来を、選べ。



目次

1. PURPOSE／VALUES
2. 会社概要
3. メンバー紹介
4. 事業内容
5. 実績
6. ロードマップ

PURPOSE



VISION

魚がいる未来を、選べ。

世界では、魚の水揚量は増えている。

しかし、日本の水揚量は40年程前から減り続けている。それも大幅に。

今、行動を起こさないと、日本の漁業は壊滅する。

そして近い未来、魚を食べることができなくなる。

子どもたちやその次の世代のためにも、

魚がいる未来に寄与する活動を行っていきます。

PURPOSE



MISSION

道内水産業を取り巻く目の前と 将来の課題を解決する。

水産資源の減少、水産業の担い手減少、
魚離れによる消費源などの様々な問題を解決します。
北海道は日本における水産大国です。
北海道の漁業・水産業の魅力を向上し、
子どもたちが将来「水産業に関わる仕事がしたい」と思える未来を目指し、
様々な活動に取り組みます。

VALUES



1

徹底的な
水産現場目線

2

道内水産業の
魅力度向上

3

北海道と全国を
繋ぐ水産ハブ

4

分野や立場の
越境による共創

5

課題の可視化と
事実に基づく実践

6

短期志向と
長期志向の融和

7

社会・経済・環境
の同時解決

COMPANY



社名		一般社団法人 DO FOR FISH
所在地		北海道札幌市中央区北8条西20丁目1-20
代表		本間 雅広
設立		2023年 6月 19日
事業		水産コミュニティ・プラットフォームの形成 食育・子育て支援事業 採用・人材育成支援事業 情報発信・PR・ブランディングに関わる事業 産官学連携・イベント開催に関する事業 水産業の持続可能化・その他法人の目的達成に必要な事業

MEMBERS

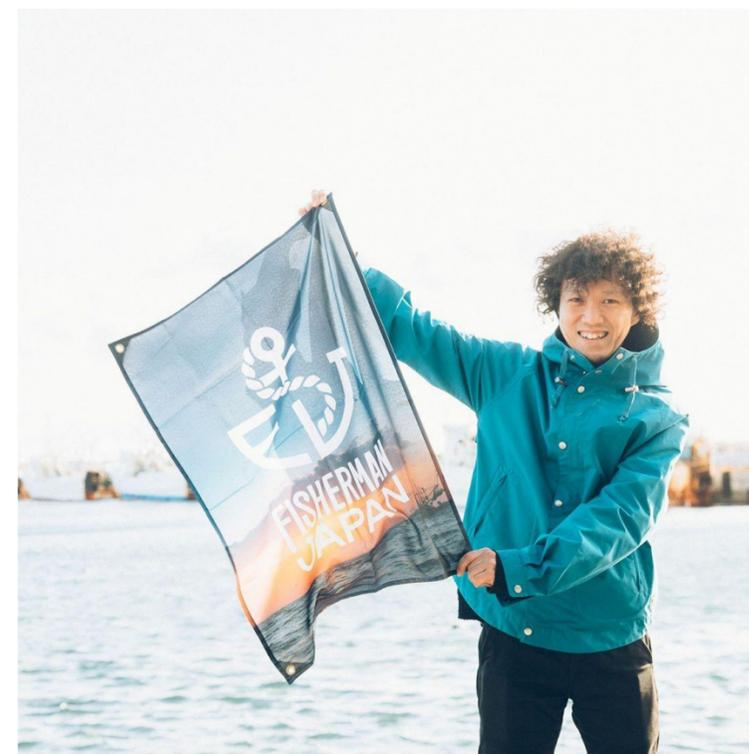


代表理事

本間 雅広

北海道
札幌市

一鱗共同水産株式会社 経営企画部室長。
ブランディングを通し社の認知度向上と新入社員の
リクルートを図るほか、(株)GAKUとコラボし「一鱗
酒場」を開店するなど、水産の新たな可能性と価値
を生み出すことを目指している。



事務局長

長谷川 琢也

宮城県
石巻市

自分の誕生日に東日本大震災が起こり、
ヤフー石巻復興ベースを立ち上げ、石巻に移り住
む。漁業を「カッコよくて、稼げて、革新的」な新
3K産業に変えるため、地域や職種を超えた漁業集団
フィッシャーマン・ジャパンの立ち上げに従事。

MEMBERS 漁師



漁師

小笠原 宏一

北海道
苫前町

inakaBLUE 代表。2021年、小さな漁村から沿岸漁業をアップデートし、豊かな海を未来へ繋ぐことをミッションに立ち上げる。「ReTAKO(リタコ)」を開発し、漁獲から加工・販売までを手掛けている。



漁師

柏谷 晃一

北海道
常呂町

マスコスモ合同会社 代表。マスコスモ合同会社は、オホーツク海に面した北見市常呂町で生まれ育った漁師と行政書士が立ち上げた。「オイシイ。でツナガリタイ」をテーマにオホーツクの海産物を扱う。



漁師

林 強徳

北海道
標津町

波心会代表。海と魚を将来の漁師に繋ぐ事、自由な思考を芯にとらえ活動している。魚屋、ゲストハウス潮目を通じた沢山の人達との繋がりを大切にしている。



漁師

圓子 瑞樹

北海道
知床半島

北海道知床ウトロで鮭漁師をしている。27歳。年々減っていく鮭の漁獲量を見て、何かできないかと思いTikTokで鮭のPRや、自分で立ち上げた水産加工会社『圓子水産』の代表をしている。



漁師

小坂 善一

北海道
利尻島

利尻島で漁師をしている。昆布養殖やウニ、ナマコ、カニ、ホッケなどの漁業もしている。ノースフラッカーズという漁師団体の代表や、株式会社膳の代表もしており、地域を盛り上げるために取り組んでいる。

MEMBERS 多様なメンバー



卸
小西 一人 北海道
函館市

マルショウ小西鮮魚店 代表取締役。東京のデザイン系大学に就学。東証一部日本デジタル研究所の製品デザイン部門に就職。2009年に父の会社のマルショウ小西鮮魚店に入社し、2018年代表就任。



飲食・小売
大坪 友樹 北海道
札幌市

LAUGHGROUP 代表取締役。上場企業の専門商社を経て、2005年に居酒屋「港町酒場もんきち」を中心に北海道で12店舗、「シハチ水産」の他、北海道の鮮魚のEC流通・卸を行う「SHIHACHI」等を展開。



加工・顧問
布施 太一 宮城県
石巻市

株式会社布施商店 代表取締役。東日本大震災をきっかけに地元・石巻に戻る事を決意し、家業である株式会社布施商店に転職し、2021年に代表取締役に就任。2021年7月よりYoutubeでの活動を開始。



顧問
柴田 涼平 北海道
厚真町

合同会社Staylink創業者。北海道札幌市内に4店舗、小樽にて2店舗、計6店舗のゲストハウスと小さなホテルを経営・運営。NPO法人として、宿内学童保育やフリースクールを行う。



顧問
宇山 生朗 北海道
札幌市

(公財)北海道環境財団、環境省脱炭素まちづくりアドバイザー。環境保全と地方創生の融和をつくる政策立案・事業形成支援に従事。その一環で近年北海道庁に出向し、脱炭素に関する事業設計を担当。

MEMBERS 多様なメンバー



事務局・プロデューサー 菊島 聡美

北海道
札幌市

しあわせ設計舎を2019年に立ち上げる。現在は第一次生産者へのコンサルティング・サポート事業、商品開発（食・美容）、カフェや飲食店のプロデュース業、食に携わるSDGs推進アドバイスなどを行う。



事務局 大星 千尋

北海道
札幌市

カネノ高橋水産 営業担当。漁業にルーツがある父の影響で幼いころから海産物に恵まれて過ごす。大学時代にFISHERMAN JAPANのインターンシップに参加。1か月宮城県石巻市の水産加工会社のSNS運用に携わる。



事務局・デザイナー 江川 南

北海道
札幌市

RESUPPORT 代表。デザイン会社と大学生と企業を繋ぐキャリア支援を行うNPOで働いた経験から、デザインとコーディネートを掛け合わせた支援を行う。中小企業のブランディングや家業後継者支援等を行う。



事務局・選書家 浦上 宥海

北海道
札幌市

名古屋生まれ名古屋育ち。大学では映画理論・批評を専攻。バーテンダーの仕事に就いた後、転職し、東京都四谷三丁目の魚専門書店・SAKANA BOOKSの店長へ。退職後、東京から札幌へ移住。「AOAO SAPPORO」の書籍ディレクターへ。

MEMBERS 多様なメンバー



事務局・学生スタッフ
倉橋 康平

北海道
函館市

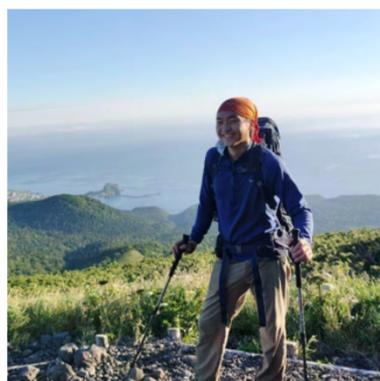
北海道大水産学部4年、主に水産物の生産方法に興味があり、大学ではカメラやセンサを用いた生産の効率化を研究している。



事務局・学生スタッフ
松岡 直哉

北海道
札幌市

北海道大学工学部2年、大学では材料科学の基礎を勉強中。エネルギーと食を通して地球環境を包括的に考えてプラネタリーヘルス実現を夢想している。将来の夢はレーザー。



事務局・学生スタッフ
太田 智啓

北海道
札幌市

北海道大学水産学部4年、現在は河川水質を学ぶ。登山と釣りが趣味で、山、川、海を自由に遊び回っている。



事務局・学生スタッフ
北浦 優翔

北海道
札幌市

北海道大学水産学部2年。1年間の休学期間中に漁業協同組合や水産卸業者でのインターンシップや漁師の手伝いの経験を経て現在は大学生29人が所属する移動式鮮魚店レディ魚一の代表を務める。

事業内容



1

水産コミュニティ
プラットフォーム
の形成

- 水産業に関わる人、興味関心がある人たちのコミュニティ形成
- イベント・勉強会・セミナー等の企画・開催
- LINE@コミュニティの運営

2

採用・
人材育成支援

- 水産業界と連携したインターンシッププログラムの企画・コーディネート
- 水産業における採用情報の提供
- キャリア相談などを通じた若者の就業支援
- 水産業の技術や専門知識を習得できる教育・研修プログラムの開発・提供
- 水産業の魅力を広く伝えるためのキャリアイベントや就職フェアの開催

3

食育・
子育て支援

- 子供向けの食育プログラムや栄養教育イベントの開催
- 子供や親を対象にした料理教室や栄養相談の提供
- 水産物の魅力や栄養価を広めるための教材や資料の制作・配布
- 学校や保育園と連携し、地域の水産物を活用した給食メニューの提案・支援
- 子育て世代のママやパパ向けの子供との楽しい水産体験イベントの企画



4

情報発信・PR・ ブランディング

- 商品開発・ブランディング支援
- 水産業の魅力や課題を伝えるWEBサイト・SNSの運営
- 水産業に関連するイベントや取り組みの広報活動支援
- 地域の水産業をPRするパンフレットやポスターの制作・配布
- 水産業に関するメディア各種との連携
- マーケティング戦略の立案
- 水産業に関する情報・意見交換を行うセミナーやフォーラムの開催

5

産官学民連携・ イベント開催

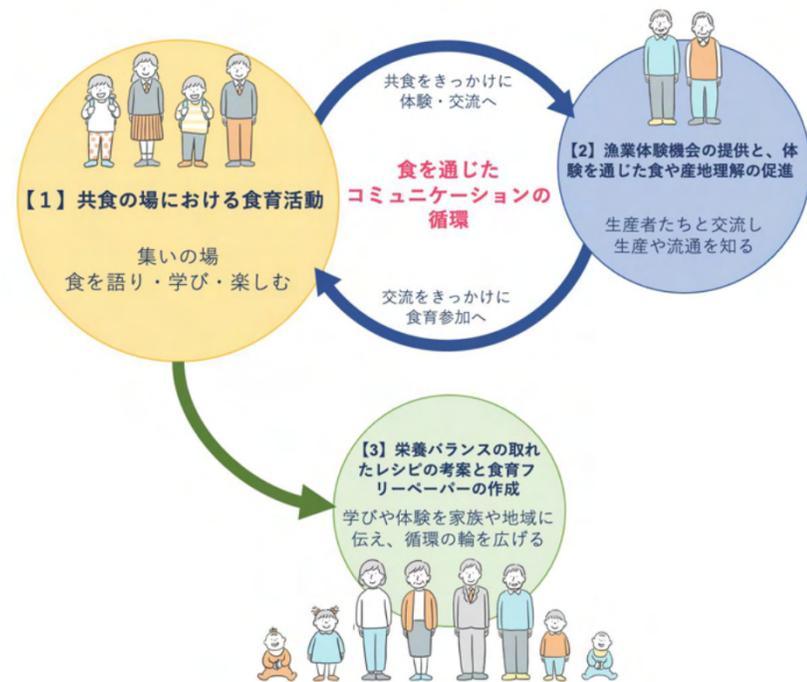
- 水産業、地方自治体、研究機関と連携した共同プロジェクト
- 水産業の代表者や専門家を招いたシンポジウムやセミナーの開催
- 水産業と関連産業の交流を促進するためのネットワーキングイベントの企画・運営
- 地域の水産業と文化をPRするフェスティバルやイベントの主催
- 水産業と学校との協力関係を強化し、教育・研究支援
- 地域住民と水産業者をつなぐコミュニケーションイベントの企画・運営

6

水産業の 持続可能化

- 持続可能な水産業に関する広報活動
- 海洋プラスチックごみや気候変動等による海洋生態系の変化に対処するプロジェクトの企画・運営
- 水産業における環境配慮技術の導入支援
- ブルーカーボン創出に関する企画支援
- 水産資源のモニタリング・調査研究

実績



石巻のフィッシャーマン ジャパンと連携 食育・共食事業の実施 (10月～2月予定)

農林水産省の消費・安全対策交付金（地域での食育の推進（広域の取組））を宮城県石巻市のフィッシャーマンジャパンと共同申請し、採択された。「都市における食育・共食とは？」を模索し、札幌市内にて10月頃から5回の開催を行う。

海と日本プロジェクト 海のごちそうフェスティバル 出店 (2023年10月21日・22日)

2023年10月21日・22日に東京・二子玉川で行われる「海のごちそうフェスティバル」に推薦を受け出店し、北海道の漁師の食材をふんだんに使ったタコ焼きを出品予定。

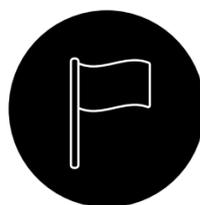
北海道日本ハムファイターズ ＜スターティング・ナイン＞ 第1期採択団体 食の持続性（生産）決定

北海道ならではの地域課題の解決、または、北海道のポテンシャルを活かした地域活性化に取り組んでいる、またはこれから取り組もうとしているソーシャルビジネスや大学発ベンチャー、NPO法人などを助成する取組に採択された。

ロードマップ



2023



DO FOR FISH 発足

一般社団法人DO FOR FISHを立ち上げ、様々な事業を通じて、まずは活動自体の認知度の向上・拡大を狙います。

2025



誰もが水産に関われるハブ

漁師だけでなく、魚や、デザイナー、学生、様々なプレイヤーが水産業に関われるプラットフォームを構築します。

2030



北海道の魚の消費量を1位へ

都道府県別の魚介類消費量を向上させ、もっと北海道民が北海道の魚を食べる未来を目指します。

2033



持続可能な水産業へ

将来の担い手となる北海道の子どもたちが「なりたい職業」TOP10に水産に関する職種が入ることが当たり前となる未来を目指します。